

## IV 元気な地域づくり活動の支援

農商関係者との連携で加工品の地域ブランドを創設支援！

東 日 杵 農 林 振 興 局  
(東日杵南部農業改良普及センター)



### 1 活動のねらい

より効果的な加工販売活動につなげるため、美郷町が市町村合併をした平成18年度に町内4つの加工グループにネットワークづくりを意識啓発し、「美郷★母ちゃんネット」の設立支援を行った。

普及センターでは、自主的な組織運営への助言や経営管理支援を行ってきたが、加工グループが発展するためには商工の支援機関との連携が重要と考え、19年度から各関係機関とのコーディネートを開始した。



母ちゃんネットの商品企画会

### 2 普及活動の経過

#### (1) 加工グループと商工会との連携を強化

普及センターでは、共に伸びようという意識が向上した「美郷★母ちゃんネット」に対し、平成19年度、商工会の『地域資源∞全国展開支援事業』の参画事業者となることを促し、これまで関わりの弱かった商工会との連携強化を図った。



会議は毎月、普及センターで開催

#### (2) グループ員のマーケティング活動をサポート

事業では、これまでグループが経験したことのないマーケティング活動へチャレンジする必要があった。

途中で挫折するグループが出ないように、個別指導やアドバイスなど内面的な支援も行った。



バイヤーに商品説明するグループ員

#### ■19年度の実施内容と成果■

- ①流通関係者との意見交換会：商品づくりについて
- ②各都道府県のモニターへ商品の食味等調査実施
- ③商品パッケージのデザイン改善：25商品
- ④新商品づくり：6商品
- ⑤福岡・広島バイヤーによる加工現場視察と商談会
- ⑥営業方法の改善：「商品規格書（商品PR）」の整備
- ⑦商談手法の実践学修
- ⑧東京での市場調査（1ヶ月間無料配布による評価）
- ⑨商談会（ギフトショー）への参加による販路拡大

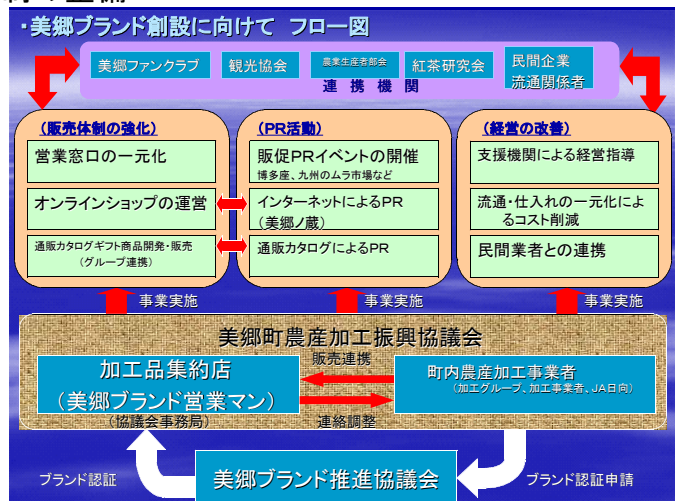


東京でのギフトショー（20年2月）

### (3) 美郷ブランドの創設に向けた支援体制の整備

平成20年度に入り、加工グループ、役場、商工会、普及センターが集まり、新たな販売や取引先の情報等について毎月、意見交換会を重ねた。

その結果、美郷町では、農家のお母さん達の良質な農産加工品をブランド化し、全国へ売り出そうと「美郷ブランド」の創設（県単事業の活用）につながり、20年9月末に「美郷町農産加工事業振興協議会」が設立され、協議会の会長には「美郷★母ちゃんネット」会長が就任した。



農・商関係者が連携した「美郷ブランド」創設のフロー図

そして、農商の関係機関で構成する「美郷ブランド認定審査会」により毎月、美郷ブランドの審査・認証をすることになった。普及センターは、食品衛生の重要性から、保健所の担当者を現場確認審査のメンバーとして呼びかけ、美郷ブランドとして認証する体制確立につなげた。

## 3 成果

### (1) グループ員自身によるマーケティング活動

平成19年度にリニューアルした商品や新商品については、「商品規格書」を整備したことで、グループ員自身が商談時に容易に営業が出来るようになった。



H20年11月に作成したカタログ

### (2) 「美郷ブランド」としての販路拡大

ラベルのデザインはグループを越えて、地域で統一感のあるものができ、美郷町加工品の売り場確保につながり（県外百貨店等3カ所）、県内外の卸業者と新たな取引が開始されている。 ○県内外の新規取引先 10箇所(H20/11月現在)

### (3) 新たな販売方法の開始

加工グループの商品が自信を持って展開できる商品となり、ホームページを利用したオンラインショッピング「美郷ノ蔵」やカタログを使った通販事業など、新しい販売方法に取り組むことになった。カタログには、グループの加工品だけではなく、美郷産紅茶「朝色紅茶」もを含めたセット商品づくりも行い、大変好評であった。

○12月のカタログ販売 470セット販売

## 4 今後の方向

販路を全国に展開したことにより、加工グループはこれまで以上に、より安全で安心な加工品づくりに努める必要がある。また、この協議会を自ら盛り上げ、関係機関との連携を密にし、目標や情報の共有化を図り、積極的な販売展開・地域のPRへと力を注ぐことが重要である。

このような取り組みから、農産物の生産拡大や町内の新たな雇用の確保、さらに活力ある地域づくりにつながるよう、今後も支援に努めていきたいと考える。

